

何かを
得るためには、
何かを
失わなくては
ならない。

30歳郵便配達員余命あとわずか。
彼は一日の命と引き換えに、
大切なものを消していく。
電話、映画、時計…
失われていく世界のなかで、
彼は愛猫とともに、かつての恋人、親友、
疎遠になってしまった父の想いに触れる。
そして最後に彼が見つけたのは
亡き母が残したメッセージだった――。



世界から 猫が 消えたならば

川村元気



秋元康

さらりと、凄いいことを
書いている小説だ。
頭で考えた文章ではなく、
感じるままに
書きなぐった言葉が、
ストレートに突き刺さる。
川村元気の小説は、音楽だ。

角田光代

小説だが、これはむしろ
哲学書なのではないかと
思えてくる。(中略)
なぜ私たちは映画を見て
わくわくするのか。
なぜ私たちは絵画を
見て涙するのか。
そうしたことの答えを
教わった気がした。

文藝春秋 2013年2月号より一部抜粋

小山薫堂

困ったことに、面白すぎる。
軽やかでありながら、
深く、笑ってしまうのに、
切ない。

30万部突破!!

消してみることで、価値が生まれる。
失うことで、大切さが分かる。感動的、人生哲学小説。

何かを
得るためには、
何かを
失わなくては
ならない。

30歳郵便配達員余命あとわずか。
彼は1日の命と引き換えに、
大切なものを消していく。電話、映画、時計…
失われていく世界のなかで、
彼は愛猫とともに、かつての恋人、親友、
疎遠になってしまった父の想いに触れる。
そして最後に彼が見つけたのは
亡き母が残したメッセージだった——。



30万部
突破!!

1,470円(税込)

秋元康

さらりと、凄いことを書いている小説だ。
頭で考えた文章ではなく、感じるままに
書きなぐった言葉が、ストレートに突き刺さる。
川村元気の小説は、音楽だ。

小山薫堂

困ったことに、面白すぎる。軽やかでありながら、
深く、笑ってしまうのに、切ない。

角田光代

小説だが、これはむしろ哲学書なのでは
ないかと思えてくる。(中略)
なぜ私たちは映画を見てわくわくするのか。
なぜ私たちは絵画を見て涙するのか。
そうしたことの答えを教わった気がした。

文藝春秋2013年2月号より一部抜粋



世界から猫が消えたなら

消してみることで、価値が生まれる。
失うことで、大切さが分かる。感動的、人生哲学小説。

川村元気